

ジェンダーギャップに絶望しない／分断されない
そのためにコミュニケーションができること

弘前大学資料館第42回企画展

アドミュージアム東京×弘前大学

わたしたちは
わかりあえない
からこそ
展

An exhibition about the gender gap, and how we can communicate
about it instead of surrendering to despair and division

2026.7.23 Thu. – 8.26 Wed.

Hirosaki University Museum / Admission Free

わたしたちはわかりあえないからこそ□する展

4万人以上が体験したアドミュージアム東京の企画展から生まれた展覧会

2025年にアドミュージアム東京で開催され好評を博した企画展「わたしたちはわかりあえないからこそ展」をもとに、弘前大学で実施した実践講義の成果を紹介する展覧会です。「人と人はそもそもわかりあえない」という前提から、学生たちが企画・制作した「わたしたちはわかりあえないからこそ〇〇する」をテーマとした作品を展示するほか、東京会場の展示の一部や、講義で取り上げた事例も紹介します。多様な視点や表現を通して、他者と向き合うための新たな対話やコミュニケーションの可能性を探ります。



「わたしたちはわかりあえないからこそ展」の様子

展示

EXHIBITION

弘前大学の学生たちが企画・制作したコーナーや、東京で開催された映像、グラフィックなど国内外の約40点の広告事例を、私たちの行動を促すキーワードに沿って紹介。

〈キーワード例〉

データから考えてみる

気づきをつくってみる

新しくしてみる

問いかけてみる

力を合わせてみる

声をあげてみる

決めつけをやめてみる

いろんな視点に立ってみる

〈展示作品〉



「最終号」(Gazenta.pl, マスターカード、BNPパリバ)



「タンポンブック」(フィメール・カンパニー)



「#NoBagForMe」(ユニ・チャーム『ソフィ』)



「#言葉の逆風:なぜ東京大学には女性が少ないのか?」
(東京大学 多様性包摂共創センター
ジェンダー・エクイティ推進オフィス)



「□してみる」
東京展での来場者記録展示

わたしたちはわかりあえないからこそ□する展

会 期: 2026年7月23日(木)ー8月26日(水)

会 場: 弘前大学資料館 企画展示室
※弘前大学附属図書館でも関連展示をあわせて開催

開館時間: 10:00-16:00(入館は15:30まで)

休 館 日: 日曜・祝日・休日
※都合により開館時間の変更・臨時閉館あり

入館入場料: 無 料

主 催: 国立大学法人弘前大学教育学部
弘前大学資料館
公益財団法人吉田秀雄記念事業財団
協 力: 弘前大学男女共同参画推進室
後 援: 弘前市
※本展示は JSPS 科研費 JP25K05970 の助成を受けたものです

お問い合わせ: 弘前大学資料館

TEL 0172-39-3432

運営事務局 弘前大学教育学部美術理論・
美術史研究室(出佳奈子)

TEL 0172-39-3383

MAIL idek_48@hirosaki-u.ac.jp

アクセス

ACCESS

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

○お車で

・「大鰐弘前IC」または「黒石IC」から約30分

○JR弘前駅から

・徒歩の場合→約20分

・バスを利用する場合→約10分

弘前駅前(中央口)【3番のりば】から
「小栗山・狼森線」または「学園町線」に
乗車し、【弘前大学前】で下車
・タクシーを利用する場合→約5分

※大学構内へは正門よりご入場ください。※第一体育館側正面玄関より
ご入館ください。※駐車スペースは、正門守衛室の指示に従ってください。

